

3学期がスタートしました。残り少ない学期ですが、風邪やインフルエンザに負けないで元気に過ごしましょう。

そのために、リズムを崩さないようにいつもと同じ生活を心がけましょう。



インフルエンザ警報発令中 コロナで学んだ感染対策の基本をもう一度！

「手洗い」「換気」「マスク」「密を避ける」

4年に及ぶコロナ感染症の予防のために、私たちは、「手洗い・換気・マスクの着用・密を避ける」ことを続けてきました。コロナ感染症が5類になり、気持ちも緩みがちになっていましたが、あの時の学びを、今、生かす時が来ています。基本にもどり、各自がインフルエンザに負けないように感染対策をしていきましょう。(カバンの中に、予備のマスクを入れておきましょう)

かぜとインフルエンザの違い

	かぜ	インフルエンザ
主な症状	(共通) 発熱、せきやくしゃみ、喉の痛み、鼻水、頭痛など 	関節痛、筋肉痛など 
発症時期	1年中	主に冬に流行
症状の進行	緩やか	急激
発熱	微熱 (37～38度)	高熱 (38度以上)

© 少年写真新聞社 2024

コロナなのかインフルエンザなのか、キットにより一度に調べてもらえる医療機関もあります。いずれにしても発熱があった場合は、医療機関を受診し医師の指示に従いお休みをしてください。出席停止期間は(コロナ感染症、インフルエンザともに)発症日翌日から5日間を経過するまでとなっています。診断された場合は、担任または学校まで連絡をお願いいたします。

連絡

- ① 学校でのけがで、スポーツ振興センターの共済給付申請をされていないご家庭は早めにご連絡をください。部活中(休日の部活動、試合、大会も含みます)登下校中、授業中、休み時間などが対象です。
- ② スクールカウンセラー、いじめ、不登校、心や体の悩みなど保健室が相談の窓口になっています。何かお困りのことなどがありましたらお気軽に連絡をください。